

2022年10月4日

矢崎総業株式会社

## 矢崎総業、沖縄県で実施中のレンタカー交通安全実証実験において、 利用者の交通事故削減につながる顕著な行動変化を確認

矢崎総業株式会社(本社:東京都港区、社長:矢崎 陸)は、株式会社トヨタレンタリース沖縄、株式会社 JTB と共に、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金(Toyota Mobility Foundation)が企画・主導する“交通事故削減”を目指した活動に参画し、昨年12月から沖縄県において、レンタカー利用者の安全運転支援のための実証実験を実施してまいりました。

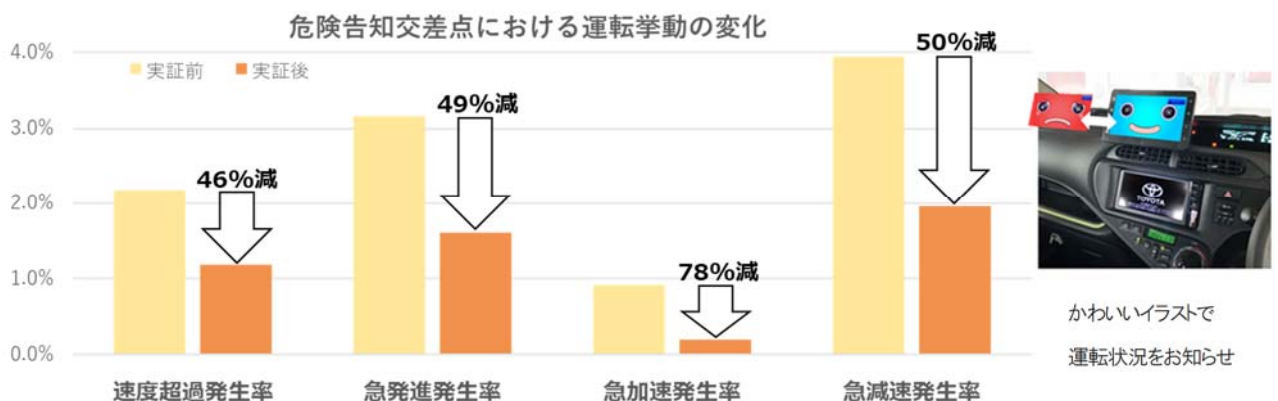
当社は、危険箇所の事前警告、ドライバーへの安全運転状態の通知などの機能を持つ車載タブレット用アプリを開発、提供しております。これまでの実証実験の結果、事故多発地点での危険挙動の減少や速度の抑制など、交通事故削減につながるドライバーの運転行動の変化が確認できております。

今後は、トヨタ自動車株式会社が保有する車両データも用いて、「産学官」で活用し、さらなる安全運転促進と観光振興等地域課題の解決に取り組んでいきます。(前回リリース <https://www.yazaki-group.com/pdf/news211209.pdf>)

### 【これまでの実証の成果】

当社で開発した車載タブレット用アプリの活用とインセンティブの供与等により、以下のようなお客様の行動の変化が確認できました。

- ・危険度が高い8箇所の交差点の接近時に警告を行った結果、実証前と比較して **速度超過 46%、急発進 49%、急加速 78%、急減速 50%の発生頻度が減少**。(下表)
- ・安全運転度に応じてアプリ画面上キャラクターの表情が変化するなどの演出などにより、ピーク速度減少等の効果につながりました。



実証データの対象期間: 2021年12月9日~2022年5月31日 | 実証前(比較)データの対象期間: 2020年8月10日~2021年6月30日

## 【今後の実証計画】

### トヨタ自動車・矢崎総業・沖縄県警(協力)

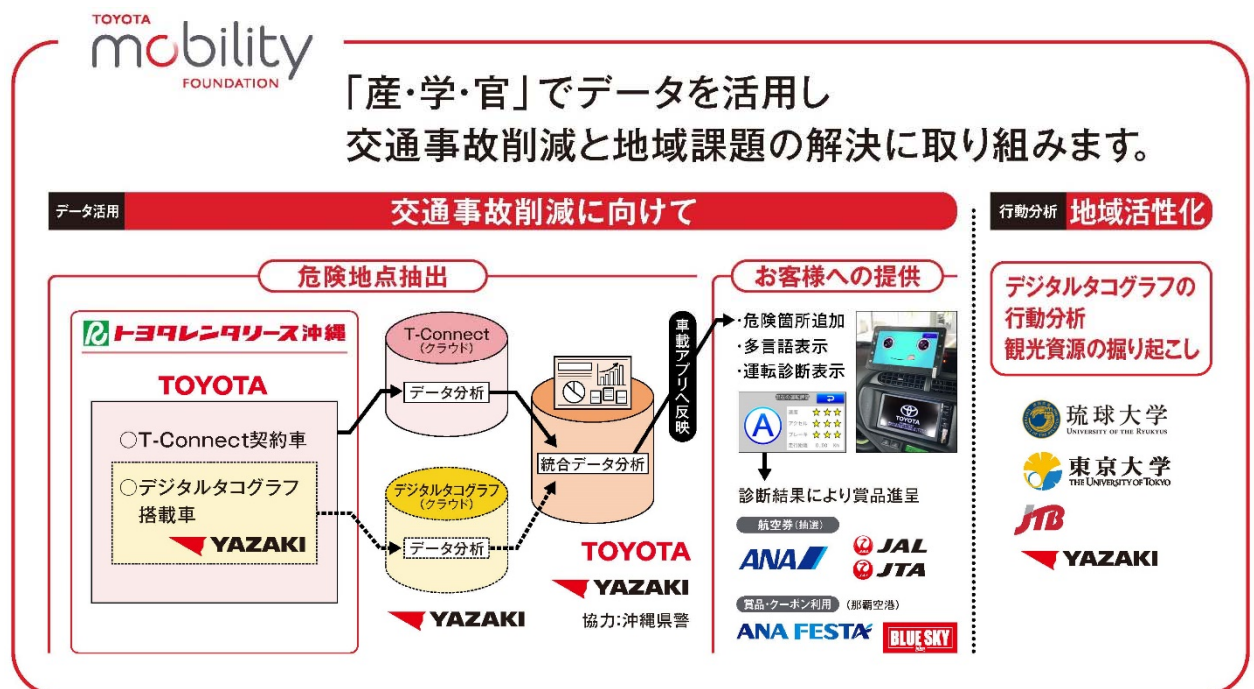
新たにトヨタ自動車株式会社も参画し、コネクティッドサービス「T-Connect」を活用したレンタカーの特性分析を行い、事故が起こる可能性が高いと推定される箇所を特定します。さらに、沖縄県警によるデータの検証・確認結果を矢崎総業の車載アプリに取り込み、レンタカーのドライバーに注意を促すことで、さらなる事故の未然防止を図ります。

### 琉球大学(神谷大介准教授)・東京大学(福田大輔教授)・JTB・矢崎総業

琉球大学 神谷大介准教授・東京大学 福田大輔教授のご協力のもと、これまで蓄積したレンタカー車両の行動データを各種観光施策の検討にも役立てます。また、車中で新たに観光情報を提供することにより分散周遊を促し、渋滞解消を図ることで、快適な観光地としての魅力の向上につなげていきます。

### 全日本空輸・日本航空および日本トランスオーシャン航空・ANA FESTA・JALUX エアポート

全日本空輸株式会社、日本航空株式会社および日本トランスオーシャン航空株式会社、ANA FESTA株式会社、株式会社 JALUX エアポートは、安全運転者への特典(航空券・地域の産品等)の提供をすることを通じて本実証実験に協力し、レンタカー利用者の安全運転支援に努めてまいります。



## ▼実証実験の概要

1. 期間：       ステップ1:2021年12月9日～2022年5月31日  
                  ステップ2:2022年10月1日～2023年3月31日(予定)
2. 対象エリア： 沖縄県本島
3. 対象者：     トヨタレンタリース沖縄を利用されるお客様のうち本実証実験に同意いただいた方
4. 主な活動：

### ▽ステップ1【実施済み】

- ①インタラクティブ動画を通じ、沖縄の交通環境や人気観光地周辺の事故多発地点等の情報を提供し、安全運転意識の向上を喚起
- ②当社が開発した車載タブレット用アプリにより、お客様の走行中の速度、加速、急ブレーキなどの情報をもとに運転診断を行い、結果をフィードバック。また事故多発地点では事前にアラート

### ▽ステップ2【新規取り組み】

- ①トヨタ自動車のコネクティッドサービス「T-Connect」を活用したデータ分析を通じ、レンタカー利用者の運転特性と事故が起きやすい箇所を特定。得られた情報を車載タブレット用アプリと連携させ、注意喚起する箇所を追加
- ②訪日外国人観光客向けに多言語化を推進
- ③新たに車内で観光情報を提供し、お客様の行動変容を促進して分散周遊へつなげる
- ④琉球大学・東京大学や沖縄県警とも連携、さらなる事故削減・観光振興策の検討など産学官で地域課題解決に取り組む

矢崎総業は、1960年のアナログ式タコグラフ(運行記録計)販売開始以来、長年にわたり、トラック、バス等商用車の安全運行に向けた取り組みを続けてまいりました。本実証実験では、これまで商用車向けのデジタル式タコグラフを活用したフリートマネジメントサービス(法人向け安全運転支援サービス)で培ってきた技術・ノウハウを基にレンタカー向けアプリを開発・実験した結果、事故削減につながる顕著な行動変化を確認できました。

今後は、アフターコロナで増加が想定される訪日外国人客も対象に加えるとともに、トヨタ自動車のデータを活用し更なる交通安全の実現を目指します。矢崎総業では、これからも実証実験を通じ、交通事故、交通渋滞に起因する地域課題の解決に向けた活動を推進してまいります。

今回の取り組みに関連するSDGsの目標：



<お問い合わせ先>

矢崎総業株式会社 広報部  
TEL : 055-965-3002  
E-mail : kouhou@jp.yazaki.com